

川西市で活動する

自然活動団体



はじめに

このたびは「川西市で活動する自然活動団体」をご覧くださいありがとうございます。

この冊子は、市内で活躍されている自然活動団体を紹介する冊子です。川西市では毎年、川西の自然の素晴らしさや自然活動団体の取り組みの浸透を目的に生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウムを開催しています。例年であれば、各自然活動団体が一堂に会し、活動紹介や報告といった情報発信・共有する場を設けていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとなり、その代わりに冊子を作成し発信することとなりました。

川西市には、菊炭生産やまち山として管理・活用されている里山のほか、市内を南北に縦断し多様な生物が生息する猪名川といった豊かな自然が広がっています。そこには自然活動団体の存在があり、活動地内の整備や希少生物の保護といった環境保全活動のほかにも、小学生や中学生の環境学習の受け入れなど教育面においても尽力いただいております。この冊子は、各自然活動団体が具体的にどんな活動をしているのかを活動風景の写真を交えて紹介しています。各団体の活動に対する熱い想いが伝わる内容となっておりますので、ぜひご一読ください。

また、川西市の生物多様性保全に深く関わっていただいている兵庫県立大学名誉教授の服部保様にも川西市の自然活動団体についてメッセージをいただいておりますので、併せてご覧ください。

この冊子をご覧くださいになった皆様にとって、身近な自然や自然活動団体について新たな発見があるとともに、私も参加しよう！と活動のきっかけになれば幸いです。



自然活動団体一覧(五十音順)

No.	団体名	ページ番号
1	川西里山クラブ	4
2	川西自然教室	6
3	菊炭友の会	8
4	大和フォレストクラブ	10
5	溪のサクラを守る会	12
6	能勢妙見山ブナ守の会	14
7	東多田里山の会	16
8	ひとくらクラブ	18
9	ひとくら森のクラブ	20
10	NPO 法人ひょうご森の倶楽部	22
11	NPO 法人北摂里山文化保存会	24
12	身近な自然とまちを考える会	26
13	虫生川周辺の自然を守る会	28
14	NPO 法人野生生物を調査研究する会	30
15	ゆめほたるクラブ	32
16	流域ネット猪名川	34

川西里山クラブ

〔設立趣旨〕

平成15年度から開始された川西市森林ボランティア講座の修了生を中心に、自然に親しみながら、川西の里山整備・管理活動を行い、会員の親睦と健康維持などを目的として平成17年4月に設立されました。

設立年月日

平成17年4月

会員数

44名（令和2年4月現在）

代表者

辻本 哲

活動地

川西市黒川（妙見の森）

連絡先

事務局長 加藤 一衛

住所：川西市東畦野山手 1-9-20

TEL：072-794-8294

E-mail：ikatou92193@yahoo.co.jp

活動日

例会：第1水曜日、日曜日
第3日曜日

ホームページ



〔団体から一言〕

長期にわたり事業運営ができたのは、里山整備にこだわらず随時一般の市民の方々と自由な発想で色々な取り組みができ、それが糧になっていると思います。

[活動紹介]

兵庫県では「エドヒガン」が絶滅危惧種になっており、市木は「桜」と定められています。また活動地の黒川地区は台場クヌギが有名です。このことからエドヒガンの保護育成とクヌギの植樹活動をしてきました。



里山活動ではいかに里山を利用するか、これが長期活動につながると思います。薪づくりは里山の若返りを図り、ナラ枯れの拡大を抑えます。今年からシカの食害に注目し、裸地の土壌流出を防ぐため「ウリハダカエデ」の植樹を試んでいます。



川西自然教室



【設立趣旨】

大阪のベッドタウンとして開発の危機にさらされている川西市とその周辺の自然に親しみ、都市部で失われつつある感性を取り戻し、大人も子どもも心豊かに暮らせるように、身近な自然の保護・再生・創造等を図ることを目的とする。

設立年月日

平成5年4月1日

会員数

115名(令和元年)

代表者

田中 廉

活動地

加茂地区(ヒメボタル保護)他

連絡先

恵須川 延満(事務局)

住所：川西市東多田 1-45-26

TEL：072-793-1298

活動日

ヒメボタル調査 5月～6月上旬まで

ホームページ



【団体から一言】

自然観察会、ヒメボタル、ゲンジボタル、リンドウ、鳴く虫、セミの抜け殻調査、清掃(芋生川、猪名川等)、野草を食べる会、芋煮会、キノコ鍋など多彩な活動を行っています。また、観察された生物のデータベース化も行っています。

[活動紹介]

毎月第2土曜日は例会の日です。川西市周辺の野山で自然観察を行います。毎年8月は水生生物の調査を行います。令和2年の8月は芋生川で専門家を招いて実施しました。



第2火曜日（変更有）は植物観察会の日です。川西市は自然が豊かに残っている場所が多く、川西市周辺で図鑑を片手に観察会を行っています。令和2年6月はグリーンハイツ外周の植物を観察しました。



菊炭友の会

〔設立趣旨〕

平成17年3月菊炭生産体験講座修了の有志12名で発足。炭生産者のお手伝いをしていたところ、平成18年に兵庫県から「里山ふれあい森づくり事業」によるエドヒガンの群生地を救出する活動を依頼され、黒川自治会と協定を結び整備に着手。

設立年月日

平成17年3月16日

会員数

50名（令和2年9月末現在）

代表者

中川 彰

活動地

川西市黒川字大土（桜の森）

連絡先

TEL：090-3970-6688

FAX：072-733-2026

E-mail：nak@yo.rim.or.jp

活動日

毎週火曜日、第1・3日曜日

ホームページ



〔団体から一言〕

茶道で重用される「菊炭」の生産技術と伝統を継承する一翼を担う気概で活動、そして薪を作ることで薪炭林としての循環型里山を維持。春にはエドヒガン・山桜などが咲き誇る景観を保つ活動を行い、また小学生の体験学習の受入実施。

[活動紹介]

1～3月は炭焼きです。クヌギ林を皆伐して「菊炭」を焼きます。お茶炭になるのはクヌギですが、それ以外のコナラ等はBBQ用炭となります。そして1年の大半はクヌギ林・桜の森などの下草刈りとなります。そんな地道な活動が台場クヌギ林を守り、市民の憩いの森になるように努力を重ねています。



小学校の体験学習の一環として、牧の台小学校3年生には自分たちでドングリから育てたクヌギ苗を「桜の森」に植樹してくれます。また4年生にはノコギリを使用してヒサカキを伐り倒してもらいます。





大和フォレストクラブ

[設立趣旨]

「大和の森」は面積約1ha。昭和40年代、大和団地（約4,000世帯）の開発時に残地として40年間放置されてきた団地周縁の雑木林の一部で、市有地です。この鬱蒼とした森を整備し、住民の憩いの場にするを目的に有志が集り、平成21年から調査を開始、平成23年から作業を始めました。

設立年月日

平成23年4月

会員数

31名（令和2年9月現在）

代表者

井浦 澄夫

活動地

川西市大和西3丁目

連絡先

代表 井浦 澄夫

活動日

毎週月曜日 9:30~11:30

住所：川西市大和西3-6-1

TEL：072-794-6875

E-mail：lura-sumio@jttk.zaq.ne.jp

ホームページ



[団体から一言]

整備を始めて9年、暗い鬱蒼とした森も見違えるように明るくなりました。「春・秋の散策会」や、毎月第3日曜日の「森のカフェ」等、定例化されたイベントを通じて住民の間でも少しずつ「大和の森」の存在が知られるようになってきたようです。最近は、音楽グループが広場で練習をするようになりました。

[活動紹介]

当初は、トウネズミモチとアカメガシワ、それに絡まるツタやクズに覆われ、一步も踏み込めないような暗い森でした。作業はそれらの樹木の除伐、ツタ・クズ・イバラの除去から始まり、クヌギ・エドヒガン・ナラガシワ等の植樹、散策道や階段の敷設が主な作業でした。最近では除草、野草花壇の充実やススキの手入れなど、整備された森の状態を維持するための作業にシフトしつつあります。カブトムシや国蝶「オオムラサキ」の繁殖にも取り組み、令和2年夏「オオムラサキ」を羽化させることができました。



森を憩いの場にすることを目的とした事業ですので、近隣の人々にどのように利用してもらえるか、どのように楽しんでもらえるかが重要です。定例の「散策会」や「森のカフェ」以外にも、子ども向け「自然探索会」や「自然工作教室」「藍のたたき染め」等の行事もあります。森の整備という力仕事だけでなく、イベントの企画や運営のできる人材も求めています。





溪のサクラを守る会

[設立趣旨]

多田 GH 猪名川斜面に、瀕死の状態です命をつなぐ野生種のサクラ「エドヒガン」を保護し猪名川の景観を改善しようと会を結成、以来活動を継続している。生物多様性の“まち山”を学習の森、文化の森として活用し、人と里山の新しい関係を切り拓いていく。

設立年月日

平成20年6月19日

会員数

60名

代表者

西澤孟治

活動地

川西市水明台1丁目、
緑台6丁目の猪名川斜面

連絡先

西澤孟治

活動日

毎週木曜日 9:00~12:00

住所：川西市水明台3-3-24

TEL：072-792-8861

ホームページ



[団体から一言]

四季の樹木・山野草をみんなで楽しむ森、子どもたちが学び遊んで歓声が絶えない森、市民が憩いと文化の香りを求め集う森 水明台エドヒガンの森とともに活動し、良い汗を流しませんか！毎週木曜日、待ってます！

[活動紹介]

溪に学ぶ

地元2校の小学3年生環境体験学習を平成21年度から毎年受け入れて、ハサミやのこぎりで活動する子供たちのお世話を続けています。今年も2学期に入って、新型コロナに感染しないよう注意を払いながら学習を始めました。先輩から申し送りを受けている子どもたちは“溪デビュー”を楽しみにしていて、歓声が緑にこだまします。



エドヒガンを守る

エドヒガンの保護と植生の多様化に取り組む私たちにとって、悩みは高齢化が進むこと。けれど今年は子どもたちの保護者世代が9名入会し、エドヒガンの根元に光を届けようと、“密”をさけながら一緒に汗を流しています。頼もしい次世代、ガンバって！



能勢妙見山ブナ守の会

〔設立趣旨〕

妙見山山頂には一万年続くとされる原生林があり、樹齢 300 年以上のブナが生えています。近年、地球温暖化や増加するシカの食害で、若木が大幅に減っています。当会は、ブナ林のある環境と文化を次世代につなげるために設立されました。

設立年月日

平成 26 年 8 月 17 日

会員数

約 60 名

代表者

会長 大西 俊秀

活動地

川西市黒川字奥山 1-1

連絡先

住所：大阪府豊能郡能勢町

野間中 661

TEL：072-739-0329

FAX：072-739-2883

活動日

第 3 火曜日 / 第 3 土曜日（隔月）

ホームページ



〔団体から一言〕

作業量はそんなにありません。日にちを決めてのんびり作業しています。心地のよいブナ林の中で、森林浴の気分で一緒に作業しませんか。体験も大歓迎です！

[活動紹介]

実生苗の保護 育成 植樹 植樹地の整備が主な活動です。実生苗を探したり、ブナ林の調査をしたり、鎌で草を刈ったり、シカが食べずに増えすぎた樹をノコギリで伐採したりする中で、日々新たな発見があります。



保護活動に加えて、啓発活動としてシンポジウムや撮影会、林内コンサート、北欧の木工「グリーンウッドワーク」などを開催。ふかふかの地面の上を歩いたり木に触れたりしながら、ブナ林の歴史や守ることの意義を伝えています。





東多田里山の会

[設立趣旨]

里山を再生することにより、環境機能、学習機能及び減災機能等の向上に寄与すること。

設立年月日

令和元年2月17日

会員数

25名

代表者

田中 高吉

活動地

川西市東多田字松が芝
しゃりりんの森

連絡先

三田市あかしあ台3丁目26-11
TEL : 090-3991-4809

活動日

月曜日、土曜日（祝日を除く）

ホームページ



[団体から一言]

活動地は多田駅から徒歩15分です。活動を開始から一年に満たない、平均年齢は高いが若い会です。一緒に活動しませんか！！

[活動紹介]

活動地のゾーン区分や植物調査

活動地を踏破しゾーン区分しました。能勢電鉄多田駅から徒歩10分で上ヶ芝霊園に到着、それより舎羅林山ハイキング道に入ると活動地「しゃりりんの森」があります(ホームページ参照)。植物調査は服部保博士とともに実施しました。見つかったナラガシワをシンボルツリーと定め、シンボルマークを作成しました。ナナミノキ、ガンピのほか、ヤマザクラ他2種の桜の大木が見つかりました。



拠点の造営

仮設営した場所に隣接する広い場所に移転するため整地、直径80cm級立ち枯れ木を伐採処理しました。倉庫機能と杉の木で作った四角ベンチで休憩やミーティングができる場所を作成しました。作業前の準備運動も可能な場所ができました。



地域と交流

多田東小学校3年生約100名が樹木探索をしました。樹名札を作成し掲示します。初めて森の中に入った児童もいるのでしょうか、大変感激したとの声がありました。小学校の植物探索の成果は、多田東コミュニティ協議会の里山公開で参加した約150名に見てもらい小学生が学習の場を利用していることを確認しました。





ひとくらクラブ

[設立趣旨]

この地域特有の里山の生態・植生・管理手法を学び里山を管理保全し、里山の文化・技術を次世代に伝え、自然豊かな環境づくりをめざす。自然の大切さ自然の中で遊ぶ楽しさを子どもたちが五感で体感し命のつながりを学べる場所にと。

設立年月日

平成16年10月17日

会員数

27名(現在4歳から80歳まで)

代表者

会長 南 清香

活動地

兵庫県立一庫公園
ワークショップルーム集合

連絡先

兵庫県立一庫公園管理事務所
開園時間：9：00～17：00
TEL：072-794-4970

活動日

毎月第2日曜日 9：30～14：00

ホームページ



[団体から一言]

多様な生き物がすむ里山と言われたこの地域の植生は貧弱となり、それらを食草とする昆虫等も減り一度失ったものを取り戻す大変さを感じている。植物も昆虫も鳥も魚も動物もキノコも人間も命はつながっていることを子どもたちに伝えたい。

[活動紹介]

一庫公園の開園当初から兵庫県と話し合い、地域特有の里山の魅力を学び伝えようと台場クヌギ林の再生と炭焼技術の習得伝承に取り組む。里山の整備で得た木や野草等を使い、自然とともに生きてきた先人の知恵技術を次世代に残したいと活動。



樹木や野草調査をして植物についての知識を拡げ、野草料理・ツバキ油搾り・木工細工・一閑張り・押し花葉でランチョンマットづくり・山の整備で採ったツルでカゴ編み・しめ縄づくり等々かつての里山の文化・技術を習得伝授。蝶等の食草を増やす試みをしながら多様な生物のすむ自然環境づくりをめざしている。





ひとくらす森のクラブ

〔設立趣旨〕

- 1) 一庫公園自然観察の森の保全を図り、ボランティア活動を楽しく安全に行う
- 2) 地域の伝統文化の菊炭の炭焼き技術を伝承し、台場クヌギ林の景観を維持する
- 3) 外来種の駆除、希少種および絶滅危惧種の保護を図る
- 4) 地域、子どもたちの生涯学習、環境学習への協力、支援を行う

設立年月日

平成24年3月

会員数

13名(令和2年4月現在)

代表者

中野 邦光

活動地

兵庫県立一庫公園

連絡先

一庫公園管理事務所

TEL : 072-794-4970

活動日

毎週木曜日 9:30~12:00

ホームページ



〔団体から一言〕

新会員を募集しています。森林ボランティアや炭焼きを楽しみたい方ならどなたでも結構です。自然に親しみながら楽しく活動してみませんか。一庫公園管理事務所(072-794-4970)までお問い合わせください。

[活動紹介]

- 1) 自然観察林の手入れと保全
- 2) 炭焼き（体験塾）の実施と炭焼き（菊炭）技術の伝承、クヌギ再生林の育成
- 3) 外来種の駆除
- 4) 希少種および絶滅危惧種の観察と保護
- 5) ナラ枯れ被害の調査と対策の実施
- 6) 公園行事、体験学習などへの支援、イベントの開催（森の幼稚園、小学生里山体験学習、トライやるウィーク、木工教室、餅つき大会など）



茶道文化を支える森づくり



NPO法人 ひょうご森の倶楽部

[設立趣旨]

森は私たちに安全な暮らしや豊かな文化をもたらすとともに、多様な生き物を育む大切な働きがあり、この森を市民の手で守るために設立し、兵庫県下全域に活動地を設定し活動している。

主な事業内容： 森林ボランティア活動の推進 森を守り・育てる、森林整備事業
森で遊び・学ぶ、ふれあい事業 森に関する情報の収集と広報事業
森林保全に関する研修・教育事業

設立年月日

設立年月：平成8年4月

黒川活動開始：平成13年10月

会員数

約300名(令和2年6月)

活動地

兵庫県下：20か所

川西市では黒川地区を中心に、場所を固定せずに活動(輪伐実施)

代表者

会長 山下 廣行

活動日

黒川活動地：毎月第2土曜日

連絡先

住所：神戸市中央区中山手通

4-1-11-201

TEL/FAX：078-321-0049

E-mail：moriclub@pearl.ocn.ne.jp

ホームページ



[団体から一言]

川西市では、伝統文化・産業の「菊炭」を守り、「日本一の里山」を維持するために黒川地区を中心にクヌギ林の維持活動を行っています。川西の里山保全活動の先駆けとして当倶楽部が始めました。この伝統文化継承活動に多くの参加を期待します。

[活動紹介]

クヌギ林維持活動

黒川地区では今でも生業として炭焼きが行われていることから、里山が利用(木が伐採)されており、このことから日本一の里山とも呼ばれていますが、炭焼きが減ったことから放置された里山が多くなっています。当倶楽部は、伝統文化・産業「菊炭」を守り、日本一の里山を維持するために、植樹、下刈り等クヌギ林の維持活動を20年行ってきました。場所は固定せず8～10年周期で伐採する炭焼きのサイクルに合わせて、黒川地区を中心に広く活動しており、輪伐箇所は20か所を超えています。



他団体等の活動支援、普及活動(黒川地区における活動)

里山の維持・管理に参加する市民や様々な主体を増やすための活動も行っている。

- ・兵庫県立淡路景観園芸学校の「里山維持管理活動」の指導
- ・全日本サーフキャスティング連盟兵庫協会のクヌギ植樹・育樹活動の誘致と指導
- ・企業の森づくり指導・支援
- ・北摂里山大学安全講習の指導



NPO法人 北摂里山文化保存会

[設立趣旨]

川西・黒川の「日本一」と称される里山をナショナルトラスト活動によって守り育むことにより、台場クヌギやブナ林、エドヒガンなどの植物や昆虫などに代表される生物多様性、また、現在も炭焼きが行われて「菊炭」が生産されている文化性、色鮮やかなパッチワーク状里山景観などを次世代に引き継ぐとともに、人々が自然に触れ合う場や機会の提供、自然や地域の魅力の情報発信、人やモノの交流による地域の活性化などを通じて、北摂里山の人と自然が共生し持続可能な地域の創生に寄与することを目的とします。

設立年月日

平成30年11月20日

代表者

理事長 金淵 信一郎

連絡先

金淵 信一郎

住所：宝塚市雲雀丘山手

2-15-28-601

TEL：072-759-6477

E-mail：info01@daiba-kunugi.com

会員数

14名

活動地

川西市黒川字大谷

活動日

不定期

ホームページ



[団体から一言]

里山に恵まれた森林資源を活用し、木質バイオマスなどによる循環と共生の地域づくりや、子どもとオトナが集まる里山広場づくりにも取り組んでいます。

[活動紹介]

黒川字大谷の里山には「日本一の里山・黒川」を象徴する台場クヌギが300本以上群生しています。この貴重な群生林を守るため、台場クヌギの毎木調査で得た植生データを活用し、本物の里山の姿をめざした里山保全・活用を進めていきます。



里山の魅力や重要性をより多くの人たちに知ってもらうために、「北摂里山まつり」や「北摂里山文化講演会」などのイベント、Webサイト、ポスターなどで里山の情報を広く発信し、北摂の里山の魅力や重要性を伝えています。





身近な自然とまちを考える会

[設立趣旨]

猪名川流域及び里山の生物などの調査研究を行い、自然環境の保全活動に寄与する。また、年間取り組みのイベント事業などに参画・支援し、地域・まちづくり、人づくりネットワークに貢献することを目的とする。

設立年月日

平成10年4月1日

会員数

20名

代表者

牛尾 巧

活動地

猪名川流域及び里山、
キセラ川西せせらぎ川調査

連絡先

石津 容子

活動日

土・日・祝日

住所：川西市湯山台 1-29-13

TEL：072-774-3515、090-1580-9536

[団体から一言]

身近な自然、猪名川や里山、せせらぎ公園、国蝶オオムラサキの学習支援など体験活動を実施することで、生物相互のつながりや食物連鎖、循環、生物多様性などについて、市民、子どもたちに自然環境と生物の関連を伝えることができた。

[活動紹介]

ここは知明湖キャンプ場。中を流れている黒川で水生生物の観察。たくさんの種類の水生生物を“ゲット！”。きれいな水に棲む昆虫や魚がたくさんいます。石の裏についている小さい虫も見逃さず“ゲット！”。生物の名前や特徴の詳しい説明を受けるので、子どもたちは興味津々。



明峰小学校に国蝶オオムラサキのケージを作り、昆虫を習う小学3年生に毎日幼虫の脱皮の観察をしてもらい、6回脱皮後～蛹、羽化、交尾、産卵、孵化の様子を見ることによって生きた学習ができた。“オス・・・紫の羽がきれい！”と興奮！





虫生川周辺の自然を守る会

[設立趣旨]

虫生川周辺の自生の桜などの良木やヤブランなどの野草を保護し森を整備することによって虫生川をホタルの生息地にして自然豊かな木洩れ日のそそぐ森にして地域の憩いの場にしたい。

設立年月日

平成23年7月1日

会員数

40名

代表者

菅原 八重子

活動地

川西市清和台東3丁目(東7緑地)

連絡先

担当：菅原 八重子

TEL：072-799-1160

活動日

月・火・木曜日 9:00~12:00

活動は月に4回~5回

[団体から一言]

活動地のシロバナウンゼンツツジが自生しているコナラ群落は平成30年に川西市の天然記念物に指定され、令和元年に兵庫県の里山31選目に登録されました。兵庫県の絶滅危惧種(レッドリスト)Bランクのスズムシバナも増えています。

シロバナウンゼンツツジの花は4月後半に皆さまに公開しています。

[活動紹介]

活動地の既存の作業道に加え、令和2年度より虫生川沿いに新規の作業道を設置中です。作業道を設置することにより、暗い川沿いの森の管理が少しでも楽にできます。貴重な植物や生き物を保護したいとみんなで頑張っております。



清和台校区の小学校2校（清和台南小学校、清和台小学校）の環境体験学習や清和台中学校のトライやる・ウィークの受け入れで、多くの子どもたちが活動地にやってきます。近くの里山「まち山」で五感を使い、自然にふれて色々な体験で自然環境の大切さを学んで欲しいと思います。





NPO法人 野生生物を調査研究する会

[設立趣旨]

この法人は、野生生物を調査・研究し、その成果を一般住民及び教育関係者に提供し、これをもって自然環境保全啓発と人づくりに寄与することを目的とする。この目的に沿って、会員による自然観察会、河川流域の調査活動、里山保全活動、出版活動、国際協力などを通して環境啓発活動を行っています。

設立年月日

平成4年に発足

平成11年に法人格を取得

代表者

黒田 明彦

連絡先

今西 将行

住所：神戸市北区東有野台 4-15-10

会員数

30名

活動地

国内は阪神間を中心に神奈川県から兵庫県。海外ではブラジル、トモヤスでの環境保全活動を展開中

活動日

毎月第2日曜日 9:30~14:00

ホームページ



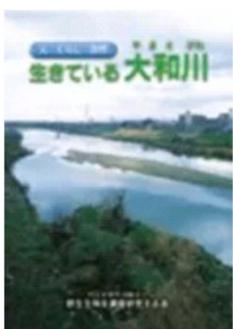
[団体から一言]

武庫川・猪名川流域を中心とした兵庫県南東部をホームフィールドとして活動しています。

[活動紹介]

本会では左記の目的に沿って、調査活動、川西市高齢者大学「りんどう学園」（新型コロナウイルスにより令和2年度は中止）への講師派遣、三田市での里山保全事業、ブラジルにおける国際協力事業、「生きている武庫川」よりはじまって、「猪名川」「揖保川」「由良川」「大和川」「鶴見川」「淀川」などの生きているシリーズの出版活動とその書籍の流域小中学校への無料配布活動、一般向けナチュラリストクラブ、兵庫県立人と自然の博物館と連携した教員対象の特別セミナー（新型コロナウイルスにより令和2年度は中止）などを行っています。

出版物



ご購入は、
ジュンク堂
書店三宮店
までお問い
合わせくだ
さい。

教員対象の夏期特別セミナー





[設立趣旨]

国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」において、市民の活動の場を提供するために設置された登録クラブです。啓発施設の運営、環境啓発やそれに通じた市民交流を円滑に果たすことを目的として生まれました。ゆめほたる里山クラブは敷地内山林の保全活動を行っています。

設立年月日

平成22年1月31日

会員数

41名

代表者

鈴木 榮一

活動地

国崎クリーンセンター敷地内

連絡先

国崎クリーンセンターゆめほたる

TEL : 072-735-7282

活動日

第1木曜日

第3木曜日、日曜日

[団体から一言]

クラブ主催のセミナー・イベントも開催していきます。
ご希望などございましたら、お気軽にお声がけください！

[活動紹介]

ゆめほたるクラブは川西市にある国崎クリーンセンター啓発施設を拠点に活動しています。里山保全是「里山保全技術者養成講座」で里山保全に必要な知識と技術の基礎を習得したメンバーで実施しています。活動地は国崎クリーンセンター敷地内の山林です。この山林は典型的な薪炭林で、かつては銅を採掘していた鉱山跡地でもあり、この特徴的な植生や地形にはエドヒガンやヒメボタルなど希少な動植物が分布しています。



ゆめほたるクラブは川西市の天然記念物に指定されているエドヒガン群落の保全を主とした生物多様性の森づくりを目指しています。また森づくりを通して他の保全活動団体との連携を取りながら、地域の生物多様性への貢献もめざしていきます。





流域ネット猪名川

[設立趣旨]

私たちが活動を始める頃の猪名川は、ゴミが多く草木は荒れ果て人が寄り付かない状態でした。そんな猪名川の本来の姿を取り戻すことを目標に、ゴミ拾いから始まった活動は外来種対策や若い世代へ猪名川の大切さを伝える活動に発展しています。

設立年月日

平成17年2月28日

会員数

22名

代表者

水谷 信彰

活動地

1. 川西市東久代1丁目14
(東久代運動公園前)
2. 川西市多田院1丁目1
(多田神社前右岸)

連絡先

担当：水谷 信彰

E-mail : suishin2025@gmail.com

TEL : 080-9126-5025

活動日

毎週水曜日、第2・4日曜日
9:30~11:30

ホームページ



[団体から一言]

会員は高校生から年配の方まで、色んな視点から「多様な生き物がすむ猪名川に！」を目指して活動しています。「〇〇がしてみたい」を積極的に取り込み、様々なことにチャレンジしています。何でもご相談ください。

[活動紹介]

非常に生育が早い外来植物などの駆除や剪定を行い、より多くの植物が共生できる環境をめざしています。特に外来植物駆除には河川管理者や流域の企業に呼びかけ、協働・連携しながら流域全体の課題として取り組んでいます。



さらに、トライやる・ウィークの休日受け入れを通じて、猪名川の自然環境や人々の暮らしを若い世代へ伝える活動に取り組んでいます。加えて、地域のイベントで生き物の展示を行うなど、小さいお子さんから楽しめる企画を盛り込みながら猪名川の魅力を発信しています。





川西市の 自然活動団体

兵庫県立大学名誉教授
服部 保

川西市内には自然性の高いブナ林(夏緑樹林)とコジイ林(照葉樹林)が妙見山山頂と平野の多太神社に残されています。黒川には今も木炭生産に利用される台場クヌギの林(日本一の里山)が広がり、住宅地の近くにはまち山とよばれる緑地が点在、市街地を流れる猪名川にはたくさんの水生生物が生活しています。これらの多様な自然の中にはエドヒガン、シロバナウンゼンツツジ、ナラガシワ、オオムラサキ、モリアオガエルといった貴重な生物がたくさん分布しています。

川西市のすばらしさは、このような優れた自然が多く存在していることなのですが、それだけではなく、これらの自然を守り育てる多くの市民団体が活動していることにもあるのです。ブナ林では「能勢妙見山ブナ守の会」、日本一の里山では「NPO法人ひょうご森の倶楽部」、「川西里山クラブ」、「菊炭友の会」、「ひとくら森のクラブ」「ひとくらクラブ」「ゆめほたるクラブ」「NPO法人北摂里山文化保存会」、まち山では「溪のサクラを守る会」、「虫生川周辺の自然を守る会」、「東多田里山の会」、「大和フォレストクラブ」、猪名川では「流域ネット猪名川」、「身近な自然とまちを考える会」、「NPO法人野生生物を調査研究する会」、川西市全体では「川西自然教室」などの多くの市民グループが保全・保護・整備活動を続けています。

川西市の市民団体の優れた点は、活動が自然の保全・保護・整備にとどまらず、児童の体験学習の支援や地域の方々にレクリエーションの場の提供をしていることです。小学校3年生の環境体験事業や4年生の里山体験事業、5年生の自然学校といったように体験学習が県内でもっとも進んだ市ですが、市民グループの支援がなければ成り立ちませんでした。

学校教育と社会活動の連携という点でも、川西市は市民活動のモデルになると思います。今まで川西市には自然保全に関連した市民団体を紹介する場や資料がありませんでした。今回、市内で活動する市民団体の活動内容、活動地などが一冊の本としてまとめられ、市民に公表されることは、これからの市民団体の益々の発展につながると思います。市民の方々にはぜひ紹介されている市民団体のいずれかに加わっていただき、自然環境の保全と子どもたちの自然体験学習の指導(学校教育への支援)をお願いしたいと思います。



川西市
Kawanishi City

川西市で活動する自然活動団体

2020年(令和2年)11月発行

編集・発行 川西市市民環境部環境衛生課

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号

TEL:072-740-1202 FAX:072-740-1336

この冊子は市役所内で印刷しています。
